

# 主要行事・イベント実施予定

4月	2日(土)	保育園入園式 時/各保育園にお問い合わせください。 場/各保育園
	6日(水)	小学校入学式 時/9時30分～ } 場/各学校 中学校入学式 時/14時～ } 問/学校教育課 (☎ 58-2271 ☎ 55-8530)
5月	15日(金)	ふれあいあいさつデー 朝の登校時間に子どもたちへ声かけをお願いします。 問/まなび文化課 (☎ 58-2272 ☎ 55-8555)
	1日(日)	いしかわ・金沢 風と緑の楽都音楽祭 2022 能美公演 時/14時 場/根上総合文化会館 料/一般1,000円、高校生以下500円(全席指定) 問/根上総合文化会館 (☎ 55-8550 ☎ 55-8555)
	3日(火・祝)	～5日(木・祝) 第113回九谷茶碗まつり 時/9時～17時(最終日は16時まで) 場/根上総合文化会館・寺井体育館・九谷陶芸村ほか 問/九谷茶碗まつり運営委員会 (☎ 58-6656)

## Information

### 事業承継インタビュー動画を公開中!

会社の経営など事業を次の経営者へ引き継がれた、市内4社へのインタビュー動画を公開しています。現社長と先代社長から、引き継ぎの経緯や苦労した点、良かった点などの思いをお話いただきました。事業の引き継ぎを考える良い機会となりますので、ぜひご覧ください。

- ・株式会社空環境計画(寺井町)
- ・株式会社手取スポーツ(辰口町)
- ・ファーマケア株式会社ふたば薬局(緑が丘)
- ・有限会社室田鉄工所(宮竹町)



詳しくは  
こちら



株式会社空環境計画の動画のワンシーン

**問い合わせ** 商工課 (☎ 58-2254 ☎ 58-2266)

お知らせ

### ひぼ・ゆずのEcoごっこさ



### 家具や家電を買ったときに出るごみの出し方 問い合わせ 生活環境課 (☎ 58-2217 ☎ 58-2292)

春は引越しシーズンです。家具や家電を買ったときに出るごみは、きちんと分別して処分し、気持ち良く新生活をスタートしましょう。

また不要になった家具などで、まだ使えるものは、根上くるくる工房へお持ちください。きれいに修理して販売しています。

▶ **ダンボール** たたんで紙ひもでしばり、資源の日またはリサイクルセンターに出しましょう。

▶ **発泡スチロール** 緩衝材として入っている発泡スチロールは、能美市では「燃やすごみ」として収集しています。細かく砕いて指定ごみ袋に入れ、燃やすごみの日に出してください。

▶ **エアークッション** (空気が入ったクッション材) 「燃やすごみ」の日に出してください。

アプリからごみの分別方法が  
確認できます



Google Play



AppStore

▲ ダウンロードはこちら ▲





コラム

のみふる館内紹介

～テーマ展示室「能美の誕生 平野と大河川。大きなお墓と国づくり。」～

今回は古墳時代の生活を紹介している展示室「能美の誕生 平野と大河川。大きなお墓と国づくり。」について紹介します。

市内には130基をこえる古墳が確認されており、中でも「寺井山古墳群」「和田山古墳群」「末寺山古墳群」「秋常山古墳群」「西山古墳群」の5つの古墳群からなる能美古墳群は、国史跡に指定されています。こちらの展示室では、その豊富な出土品が約300点も展示されています。

能美古墳群の全体像を知ることができるのが、のみふるに展示しているジオラマです。古墳群が築かれた地形と古墳の形を分かりやすく表現するため、そのサイズ感や配置に工夫を凝らしました。チョコレート色の墳丘はサイズも形もさまざまです。いずれも築造の時期や埋葬された人物について考える上で重要な情報です。さらに、このジオラマでは失われた丘陵部も白く表現されています。全ての丘陵で一部もしくは、そのほとんどが失われてしまったことが分かります。この失われた丘陵部にも古墳が築かれていたことでしょう。しかし、その様相を知る術は、今はありません。今の私たちにできることは、残されたこの素晴らしい先人たちの足跡を、未来に守り伝えることです。



能美古墳群ジオラマ

4月はお花見シーズンです。ぜひご家族でお花見を兼ねて能美古墳群を散策し、古墳のロマンを肌で感じ、未来へ継承する思いを少しでも抱いていただければ幸いです。

お知らせ

こうだむかいやま 河田向山古墳群のドローン映像が完成!

令和5年は加賀国が立国し、能美郡が誕生して1200年の記念の年。この節目に向けて、能美市・小松市・地元歴史団体などが連携する「加賀立国1200年遺跡魅力発信委員会」では、令和2年からさまざまな活動を展開しています。

この度、立国の礎を築いた古墳時代の謎の解明のため、能美市・小松市の両市にまたがる未調査の古墳群「河田向山古墳群」で測量調査を実施しました。さらに、調査成果とドローンで上空から撮影した古墳群の映像を組み合わせた動画を制作しました。現在、完成した動画は、のみふるで上映していますのでぜひご覧ください。

豊かな能美暮らしを未来へつなごう!



エス!エス!エスディーゼス  
**SDGs**

問/企画デジタル課(旧市長戦略課) SDGs推進室  
(☎58-2220 ☎58-2291)

SDGsってなんだろう?

SDGs (Sustainable (サステイナブル) Development (開発) Goals (ゴールズ))は日本語で持続可能な開発目標と訳され、2030年までに持続可能でより良い社会を目指す国際目標のことです。経済・環境・社会の課題を解決するための17のゴール・169のターゲットから構成され、「誰一人取り残さない」ことを誓っています。

能美の「お人柄」は豊かな能美市をつくる人たちです

SDGsの効果的な推進に向けて具体策を検討する「のみSDGs円卓会議」において、能美市のSDGsを推進するキャッチフレーズを「未来につなぐお人柄」に決定しました。

現在の豊かな地域を築いているたくさんの方々の市民活動を、未来を担う人たちにつないでいくことで「暮らしやすさを日本一、実感できるまち」を実現していこう!という意味が込められています。

市民の皆さんが地域で取り組んでいる清掃活動やお祭りなどの行事、笑顔で交わすあいさつ、困ったときの助け合いの精神など、身近で取り組まれている多くの活動が、暮らしやすさにつながっています。その市民力・地域力を失うことなく、さらに発展させていくことが、暮らしやすさをより豊かにしていきます。

そこで「お人柄プロジェクト」として、ものづくりやスポーツなどの分野で活躍する「極めるお人柄」、ボランティアなどで子育てや教育、健康、在住外国人を支える「思いやるお人柄」、地域を守り支える、あるいは多様な世代の交流を生む「つなぐお人柄」の成長に取り組んでいきます。その具体的な活動目標を示す「のみ指標」を4月中に市ホームページで公開する予定です。また5月に、のみSDGsパートナーシップ制度を立ち上げ、のみSDGsパートナーズの募集を開始し、皆さんが取り組みやすいように、勉強会を兼ねた説明会も順次開催していきます。

暮らしやすさを日本一、実感できるように、みんなで力を合わせてSDGsに取り組んでいきましょう。

お人柄 つなぐ 未来に



SDGs未来都市 能の美市 NOMI, ISHICAWA, JAPAN

のみSDGs相談窓口 4月1日(金) オープン!

市民や企業などの皆さまからSDGsについての取り組みなどについて気軽に相談できる相談窓口を設置します。

「自分たちの活動はSDGsのどのゴールに関係している?」「SDGsって何をしたら良い?」「会社でSDGsに取り組みたいけど、どうしたら良い?」など、お気軽にお問い合わせください。

**場所** 市役所本庁舎2階 企画デジタル課(旧市長戦略課) ※SDGs推進室職員が対応します。

**日時** 平日(月～金曜日) ※年末年始、祝日を除く 8時30分～17時15分

**相談方法** ▶ 電話・FAX・メール 企画デジタル課SDGs推進室 (☎58-2220 ☎58-2291 ✉senryaku@city.nomi.lg.jp)  
▶ 対面 **事前予約**をお願いします。

**相談内容** ▶ SDGsの取り組みに関すること  
▶ SDGsをテーマとする出前講座の申し込み  
▶ 企業などのSDGsに関すること





# いしかわ動物園にズームイン!

Zoo

文：いしかわ動物園

## ■猛禽の世界～狩りをする鳥たち～

春らしい季節となりました。さて、4月13日(水)から動物学習センターで標記タイトルの企画展を開催します。「猛禽類」という言葉は、特定の分類群を示す名称ではなく、狩りに適した身体的特徴や生態を身に付けた鳥たちの総称です。一般的にはワシやタカ、フクロウ、ハヤブサの仲間が該当します。これらの鳥たちは優れた視力や飛翔能力を持ち、獲物を狩る際に役立つ強力なかぎ爪と鋭いくちばしを武器とする共通した特徴があるのですが、分類学的にはそれぞれが独立したグループです。

この企画展ではこれらの猛禽類について総合的に紹介しながら、その代表ともいえる石川県の県鳥イヌワシの現状も解説しています。北半球に広く生息するイヌワシは世界的に見れば、危機的な状況ではありませんが、日本では狩り場の植林化により、餌であるノウサギなどの捕獲が難しくなり、急速にその数を減らしています。さらに県では現在30羽程度が確認されているのみで、絶滅への黄色信号が点灯しています。今回の展示で、このような現状も知っていただきたいと考えています。

最後に、皆さんは世界最大の猛禽類が羽を広げると、どのくらい大きくなるか、ご存じでしょうか。世界最大の猛禽類といわれるのは、南米アンデス山脈に住むコンドルです。その翼開長(羽を広げた最大値)は3.2メートルに及びます。原寸大のシルエットパネルで展示していますので、ぜひご覧ください。びっくりされること間違いなしです。



いしかわ動物園のイヌワシ「ダイニチ」(オス)

# みんなの図書館

※開館時間、休館日については、市立図書館ホームページ、各図書館によりをご覧ください。

### おすすめの一般書



**ななみの海**  
朝比奈あすか【著】  
双葉社

児童養護施設で暮らす高校生のななみは、医学部進学を目指している。懸命なアルバイト、最後の文化祭、初めての彼氏。高校生活を色濃く過ごす中、高3の夏にななみが選んだ道とは…。

### おすすめの児童書



**まよなかのサイクリング**  
たるいしまこ【作】  
あかね書房

チャイロはたっくんちの飼いたい犬。たっくんの自転車を見て「ほくも乗ってみたいなあ」と思っています。ある夜、チャイロはこっそり自転車に乗って…!? 飼いまの知らないところで柴犬のチャイロたちが大冒険する楽しいお話。

### おすすめの絵本



**どうしよう**  
浜田 桂子【作】  
理論社

ほくはたったひとりしかいないのに、「どうしよう」と思うと、いろんなほくが出てくる。強気なほくに弱気なほく、意地悪なほくに優しいほく…。毎日毎日新しい「どうしよう」が生まれて、ほくの心は大騒ぎ。どれが本物のな?」

### 長期間、ご利用がない方の登録情報削除について



図書館では、個人情報の適正管理のため、過去10年間、図書館のご利用がなかった方の登録情報を、毎年削除しています。改めてご利用になる場合は、再度図書館利用カードの作成が必要です。住所や氏名などの分かる証明書をお持ちの上、貸出登録申込書の記入をお願いします。



## 今月のイッピン! 「若杉窯 色絵牡丹図台鉢」

若杉窯は江戸後期に現在の小松市若杉町で開窯した再興九谷窯の一つです。きっかけは文化4年(1807)に金沢の春日山窯に来窯した京焼の名工青木木米の助工だった本多貞吉が、金沢近郊に無かった磁器原料の陶石を探し求め、小松の花坂山に見つけたことにあります。若杉村の十村役を勤める林八兵衛の助力を得て、彼の営む瓦窯で花坂の陶石を利用して、文化8年(1811)磁器焼成に成功します。師の青木木米は古九谷にあこがれて加賀藩にやってきた経緯もあって、師が去った後も貞吉はその再興に情熱を傾けます。やがて加賀藩直轄の藩窯となり、量産向きの染付作品を多く焼くこととなりますが、古九谷風の作品も散見できます。当該作も緑・黄・紫・紺青の四彩色で古九谷の青手を模した塗埋め様式となっています。盃洗の形状の台鉢内外に牡丹花と渦巻き文様を丁寧かつ豪放に描いており、古九谷の雰囲気を出しているイッピン! です。(文・五彩館館長 中矢)



若杉窯 色絵牡丹図台鉢  
サイズ 口径23.0/高14.8cm  
制作 若杉窯  
年代 1811(文化8) ~ 1875(明治8)年  
保管先 能美市九谷焼美術館 | 五彩館 |

### INFO

#### ■第45回伝統九谷焼工芸展

石川県指定無形文化財保持団体「九谷焼技術保存会」主催の公募展  
期間 5月15日(日)まで  
会場 「五彩館」紫の間・緑の間

## 今月の手話

問/福祉課 (☎ 58-2230 ☎ 58-2294)

手話表現：能美市聴覚障害者と共に歩む会 新田 照予 さん(ろう者)  
福祉課 原 仁美 (健聴者)

### ろう



①-1、2 手の平で耳をふさぎ、次に口をふさぐ。  
※「ろう」とは  
耳が聞こえない状態や聞こえない人。また、聞こえない人で手話を第一言語として生活している人。



### 健聴



①-1、2 上に向けた両手人差し指を、耳と口元で同時に2回前へ出す。  
※「健聴」とは  
聴覚に障がない状態や聴覚障がない人



### 動画配信中



QRコード

動画で「私は、ろうです。共生社会の実現を目指しましょう」「私は、健聴です。手話ができます」の手話表現をご覧ください。ぜひ、アクセスしてみてください♪



# わたしとこの町

## File64 山田町



農家以外の人も協力し、泥上げ作業を行っています

私は農業を専業で営んでおり、山田町内外の田で米や大麦、大豆を生産しています。また山田町生産組合の一員として、町内の農道や農業用水路の維持管理にも関わっています。

用水路の泥上げなどの作業に出てくる町民は年々高齢化していますが、若い世代の参加が少なく、私はいつになっても「若手」で、昔は、地域に専業や兼業などの多くの農家がいいて、より良い農業環境の中でおいしいお米を作るために、田の畦畔や農道などの草

刈り、用水路の清掃・補修などを、みんなで力を合わせて行ってきました。今は農業に関わる人が減り、農家だけで作業を行うことは非常に難しく、山田町では町会の協力もあり、農道や用水路の維持管理ができています。農家以外の人にとっては「おいしいお米を作るため」という目的ではありませんが、「地域の環境美化のため」に協力してもらえることはありがたい限りです。

しかし、働き方が多様化している中で、土曜・日曜の作業に出られない人にも関わってもらえるようなやり方を考えていかなければ



生産組合を中心に農道整備を行っています

ならないと感じています。農業のスマート化が国主導で進められています。農業用施設の管理についても、多額の費用負担なくスマート化していくと良いなと思います。そうすれば、若い世代も関心を持つってくれるかもしれません。

これからの農業は、経営体の規模は大きくなっても、地産地消の循環型で回るような形が今以上にできたら良いなと思います。地域の人たちが力を合わせ、住みよい農村環境を維持し、収穫されたおいしいお米と味噌汁を地元の人々に届けられるよう、専業農家として、これからも頑張っていきたいです。



地域力で住みよい農村環境を後世に

わだ まさと  
和多 真智 さん

## File63 福島町



福島町日吉神社では家の安全や地域を守る神の大山咋神が祀られています

私は定年退職してから15年間、福島町日吉神社の神主を奉仕してまいりました。

神主を引き受けたときは、そんなに難しいことではなく、簡単だと思っていました。

しかし、日々参拝客が訪れる中で、日吉神社に祀られている神のことを尋ねられ、私は恥ずかしながら答えることができませんでした。それがきっかけで、神々について、勉強するようになり、知識を深めていきました。

明治45年、寺井駅舎（現在の能美根上駅）の新設工事に伴い、その場所に鎮座していた濁池八幡神社の移設が余儀なくされました。



平成30年に建て替えした日吉神社の由来碑

社のため、濁池八幡神社に祀られていた神が日吉神社に移されました。以降、日吉神社には日吉神社の神（大山咋神）と八幡神社の神（応神天皇）が祀られることになり、本社には二柱の神が祀られることになりました。

昭和27年、日吉神社に祀られていた濁池八幡神社の神が野八幡神社（現在の大成八幡神社）に返されました。

ところが、野八幡神社に返されたはずの八幡神社の神が、日吉神社の由来碑には祀られていると記されており、私はそのことに気が付きました。真実を確かめるため、



日吉神社の神主を務めていた

ももつ かつお  
百津 勝男 さん

日吉神社の宮司を務める安宅住吉神社の宮司に確認したところ、現在、日吉神社に祀られている神は大山咋神のみであることが分かりました。

由来碑が間違っていると分かったので平成30年、間違っている由来碑を解体し、正しく記した由来碑に建て替えました。

私は神主を奉仕しているうちに楽しくなり、気が付けば15年の月日が経っていました。長く奉仕していたことで、由来碑の間違いに気が付くなど、私にとって貴重な経験となりました。

皆さまも、ぜひ日吉神社を参拝されてはいかがでしょうか。